

靴下・整髪料に関する校則の見直しについて

平素は本校の教育活動にご理解・ご協力いただき、まことにありがとうございます。

表記については、生徒会が中心となり、全校生徒が意見を出し合い考えた校則案で試行期間を設けました。2月には生徒会がアンケートを通して保護者の皆さまの意見を伺い、124名の保護者からご回答いただきました。ありがとうございます。一部ですが紹介させていただきます。

<靴下の新校則案について>

- 理由や新しいルールもよく考えられており、賛成です。
- 賛成です。サイズ感の合う物が購入しやすくなって良いと思います。
- 式やテスト時には、シンプルな靴下を履くようにメリハリをつけるのであれば、案には賛成です。
- 今は学校用の無地の靴下と休日に履く靴下を購入して使い分けているので、出費も減り助かるので賛成。
- 賛成。兄妹で狭山中に通うので、黒か白の無地のみしかだめなら、兄妹どちらの靴下かとても分かりにくいです。(黒の靴下には名前を書けないので。)
- 靴下の校則は子どもが入学した頃から変えてほしいと思っていたので賛成です。わざわざ買い替えたので小学生の頃から使用していたものを使えたら良かったのにな…とっていました。
- 運動部の為無地のスポーツ用靴下がなかなか無くて苦労していましたので賛成です。
- 賛成です。派手な色ではなくワンポイントぐらいはあってもいいと思う。
- 子供たちが考えたことに賛成です。
- 中学校生活の場にふさわしくない、奇抜な色・柄(イラストも含む)でなければ、現行の校則を見直してよいと思います。
- 個人的な意見では、制服という統一感から考えると、白や黒やグレーやブラウン、クリームなど、派手すぎない色かワンポイントまでが良いのではないかと思いました。
- 華美なものや少し高価なものが流行ったとき、そういったものを購入するのが難しい生徒や家庭の事情がある場合、その人たちの気持ちをどのように解決するかということも考えてほしいと思います。

<整髪料の新校則案について>

- 賛成です。つけすぎない、匂いへの配慮も良い塩梅だと思います。身だしなみを整えることも中学生には必要だと思います。
- 整髪料の臭いに敏感な人への配慮も入っている所がよく考えられていて良いと思います。
- 賛成です。髪の毛で悩んでいる子がいると思うので支障がなければいいと思います。
- 整髪料はルールを守り使用するのであれば改定しても良いかと思う。ただし、守られないような生徒が多々出てくれば、辞めるべき。

- 派手な髪型にする為ではなく身だしなみを整える為の整髪料は賛成です。
- 多少の使用は良いと思います。寝ぐせぐちゃぐちゃの髪はだらしく感じます。ただ、香害の可能性もあります。過度な使用やプールの時は控えるなど、人を思いやる対応ができるように保護者としてはしていきたいと思います。
- 無香料もしくは微香性のものを使用し、学校では匂いがないようにする、のであれば、賛成です。
- 賛成ですが、無香料のみ可が良いと思います。匂いの感じ方は人それぞれで、少しの匂いでも頭痛がしたりする人もいますからです。
- 賛成 適度な使用量であれば問題ないと思います。
- どこまでが OK で、ダメなのか、難しい気がします。
- プール時は入る前に整髪料をつけて行くのは不衛生だと思う。プール後に最低限のオイルなどで広がりを抑える程度はいいと思う。ジェルやムースの頭髪でプール入水するのはちょっと。
- 髪をまとめる程度の使用であれば賛成ですが、プール時に持ち込む事に関して反対です。貸し借りの問題(毎回借りる人)に発展する可能性があるかと思いました。

靴下については「小学生の頃から使用していたものが使えて出費も減り助かる」「スポーツ用靴下が使えたら」「式やテスト時には、シンプルな靴下を履くようにしてメリハリをつける」等、また整髪料については「身だしなみを整えるため」「周りの人を気遣った、無香料のみの使用」等の意見が寄せられ、ご意見の多くは賛成でした。また、「子どもの自主的な活動」や「自分たちで考える」という、本校が進めている生徒会・委員会活動に肯定的なご意見もたくさん頂戴し、教育活動の方向性にご理解いただいていることもわかりました。

これらの意見や試行期間の様子を踏まえ、生徒会が一部修正を加えた以下の見直し案を認めることに決めました。

<靴下の校則>

- ・靴下のイラスト、ロゴ、カラーは何でも良い。
- ・飾りのついたもの、レース、ルーズソックスなどはなし。(体育の授業を考慮)
- ・式やテストの時は、単色やなるべくシンプルなものにする。

<整髪料の校則>

- ・髪型を整えるための整髪料の使用は可能。ただし無香料のものにし、においのないようにする。また、極端につけすぎることをないようにする。
- ・プールの授業がある日は使用を控える。
- ・学校への持ち込みはなし。

今後も子どもたちの自主的な活動や時代に応じた取組みを進めてまいります。引き続きご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。